

まちづくり交付金 事後評価シート
蓬川地区

平成21年12月

兵庫県尼崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	尼崎市	地区名	蓬川地区			面積	11.4ha
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	2,658.1百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	市道新設(960m)、公園(1,400㎡)、不水道新設(77m)、公営住宅整備(186戸)							
	提案事業	地域創造支援事業(公営住宅等整備関連事業、花いっぱい事業、補助対象外事業)、事業活用調査事業(民間誘導方策検討調査、跡地利活用検討調査)、まちづくり活動推進事業(専門家の派遣、ワークショップ開催等)							
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	基幹事業	なし							
	提案事業	事業活用調査(事業推進・事業効果等の検討・検証調査)	直管で実施することとしたため			影響なし			
新たに追加した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
基幹事業	なし								
提案事業	地域創造支援事業(給水施設新設事業)	住宅建設にあたり給水施設整備が必要となったため			影響なし				
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし			
		変更							

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	中堅ファミリー層の増加率	%	30	16	45	21	60		あり	鉄道駅からの立地、自然環境の豊富さから、期待以上に中堅ファミリー層の定住につながった。	平成22年4月
指標2	車イス利用者や高齢者の来街者数	人/日	40	16	80	21	42	x	あり	高齢者や車椅子利用者の来街者数は平均値的な数値把握が難しく、効果測定困難であった。	平成22年4月
指標3	環境改善活動へのボランティアの参加者数	人	0	16	100	21	238		あり	花いっぱい事業を通じて地域住民の交流が図れ、地域に対する愛着が生まれた。	平成22年4月
指標4	ワークショップ等まちづくり会合数	回	0	16	4	21	9		あり	公園整備にあたりワークショップを通じて地域住民の交流が図られた。	平成22年4月

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	地区内の高齢者居住者数	人	350	16			440			高齢化した公営住宅の建替等により高齢者にも住みやすい環境となった。	平成22年4月
その他の数値指標2											
その他の数値指標3											

4) 定性的な効果発現状況
 高齢化率の高い市営住宅、県営住宅と民間ファミリー向け分譲マンションとが地区内に立地することで、相互の特性を生かした地縁型自治活動が生まれつつある。具体的には、高齢者の扶助・懇親活動は公営住宅側の既存自治会活動を中心に、またレクリエーション・地域活動は分譲マンション自治会が合流し支援する形で相互交流の動きが見られる。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
住民参加プロセス	・市民主体の花いっぱい事業への参加 ・公園整備に関するワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた			・地域住民が主体となった花づくりグループが、自分たちで資材や花苗を調達できる仕組みづくりを支援していく。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			・地域住民の主体的な活動に任せ、市は後方支援に徹する。
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

